



## 平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年8月4日

上場取引所 東

上場会社名 カネヨウ株式会社

コード番号 3209 URL <http://www.kaneyo-net.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 川島 正博

問合せ先責任者 (役職名) 取締役職能担当

(氏名) 中村 陽介

TEL 06-6243-6500

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第1四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	1,578	△10.8	△4	—	△9	—	65	—
29年3月期第1四半期	1,770	△7.7	△13	—	△18	—	△19	—

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円銭		円銭	
30年3月期第1四半期	4.65		—	
29年3月期第1四半期	△1.36		—	

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円銭		
30年3月期第1四半期	4,223		1,233		29.2	87.93		
29年3月期	4,571		1,203		26.3	85.75		

(参考)自己資本 30年3月期第1四半期 1,233百万円 29年3月期 1,203百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末		
29年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00
30年3月期	—					
30年3月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	8,500	△4.4	165	2.5	130	2.8	150	3.9	10.66

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期1Q	14,066,208 株	29年3月期	14,066,208 株
30年3月期1Q	34,842 株	29年3月期	34,842 株
30年3月期1Q	14,031,366 株	29年3月期1Q	14,031,814 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	4
第1四半期累計期間 .....	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	5
(継続企業の前提に関する注記) .....	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	5
(重要な後発事象) .....	5

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策および日銀の金融緩和政策を背景に、企業収益および雇用の改善もあり、緩やかな回復基調が続いているものの、個人消費は依然として足踏み状態が続いております。また、国際情勢の不確実性により先行きの不透明感が続いております。

このような環境下、当社におきましては、前期に引き続き収益の拡大を目標に、当社の役割の大きな取引に集中し、売上総利益率の向上に努力してまいりました。

この結果、当第1四半期累計期間の業績は売上高15億78百万円(前年同期比10.8%減)、営業利益は△4百万円(前年同期△13百万円、前年同期比9百万円の増加)、経常利益は△9百万円(前年同期△18百万円、同9百万円の増加)、四半期純利益65百万円(前年同期△19百万円、同84百万円の増加)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ①寝装用原料

羽毛原料は大手取引先との取組で売上を大きく伸ばすことができました。

羊毛原料・合繊原料は不要期ということもあり、伸長させることができませんでした。

全体的には売上の伸長により、利益も伸ばすことが出来ました。

その結果、売上高は6億47百万円(前年同期比25.7%増)、営業利益は21百万円(同13.9%増)となりました。

## ②寝装製品

寝装製品は利益の低い取引からの撤退により売上は減少しましたが、利益率の改善に努め、利益は伸長させることができました。

ホテル向け商材は好調を維持し、春夏素材であるガーゼケットも売上・利益に貢献しました。

その結果、売上高は1億93百万円(前年同期比32.4%減)、営業利益は0百万円(同652.3%増)となりました。

## ③リビング・インテリア用品

リビング・インテリア用品は、TVショッピング、ネット通販との取組は好調を持続しましたが、紙面通販、地方間屋向けカーテンの取組が苦戦したことにより売上・利益ともに伸長させることができませんでした。

その結果、売上高は2億28百万円(前年同期比34.2%減)、営業利益は10百万円(前年同期比41.0%減)となりました。

## ④生地反物等繊維製品

ニット素材は市況の低迷を受け、苦戦が続いています。

アパレル製品に関しては、個人消費の足踏み状態が続いている中、ミセス市場を中心に善戦し、前年を維持しています。

その結果売上高は2億94百万円(前年同期比15.6%減)、営業利益は12百万円(同8.5%減)となりました。

## ⑤生活関連用品

生活関連用品は需要の低迷が続く健康食品、生活雑貨の分野からの撤退で、売上は伸長できませんでした。農業資材、梱包資材、保冷資材は堅調に推移しました。

その結果、売上高は2億13百万円(前年同期比21.1%減)、営業利益は6百万円(同2.8%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末の45億71百万円に比し、3億48百万円減少し、42億23百万円となりました。減少の主因は、季節的な要因による商量の減少に伴う受取手形及び売掛金の減少2億61百万円であります。

## (負債)

当第1四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末の33億68百万円に比し、3億79百万円減少し、29億89百万円となりました。減少の主因は、季節的な要因による支払手形及び買掛金の減少2億98百万円であります。

## (純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末の12億3百万円に比し、30百万円増加し、12億33百万円となりました。増加の主因は、四半期純利益65百万円の計上によるものであります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月2日の「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、5ページの(重要な後発事象)に記載しております事業譲受が業績に及ぼす影響については、現在精査中であります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	739,694	526,816
受取手形及び売掛金	2,273,243	2,012,097
商品	642,257	825,488
その他	27,420	74,880
貸倒引当金	△15,193	△10,964
流動資産合計	3,667,421	3,428,318
固定資産		
有形固定資産	599,981	595,259
無形固定資産	5,893	5,721
投資その他の資産	298,317	193,816
固定資産合計	904,192	794,797
資産合計	4,571,613	4,223,115
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,897,268	1,598,373
短期借入金	1,008,700	1,000,000
未払法人税等	28,895	3,310
賞与引当金	18,400	3,900
その他	166,835	146,934
流動負債合計	3,120,099	2,752,519
固定負債		
その他	248,319	236,854
固定負債合計	248,319	236,854
負債合計	3,368,419	2,989,374
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	703,310	703,310
利益剰余金	97,268	162,462
自己株式	△2,634	△2,634
株主資本合計	797,944	863,138
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	84,994	33,978
繰延ヘッジ損益	△1,489	14,881
土地再評価差額金	321,743	321,743
評価・換算差額等合計	405,249	370,603
純資産合計	1,203,194	1,233,741
負債純資産合計	4,571,613	4,223,115

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	1,770,445	1,578,510
売上原価	1,660,692	1,469,971
売上総利益	109,752	108,539
販売費及び一般管理費	123,738	113,387
営業損失(△)	△13,985	△4,848
営業外収益		
受取利息	297	352
受取配当金	3,615	3,293
受取賃貸料	3,450	3,450
その他	0	65
営業外収益合計	7,363	7,162
営業外費用		
支払利息	9,189	8,336
賃貸収入原価	3,003	2,998
その他	64	68
営業外費用合計	12,257	11,403
経常損失(△)	△18,879	△9,089
特別利益		
関係会社株式売却益	—	74,483
特別利益合計	—	74,483
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△18,879	65,393
法人税、住民税及び事業税	180	200
法人税等調整額	—	—
法人税等合計	180	200
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△19,059	65,193

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

取得による企業結合

当社は、平成29年7月31日開催の取締役会において、下記のとおり、フォワード・アパレル・トレーディング株式会社保有する原料・テキスタイル貿易部門の事業を譲り受けることを決議し、事業譲渡契約を締結いたしました。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称	フォワード・アパレル・トレーディング株式会社
事業の内容	繊維原料(紡績糸他)・生機・織物等の輸出入

(2) 企業結合を行う主な理由

当社は、寝装・インテリア・アパレル等の関連商品を国内市場向けに販売しておりますが、事業領域を拡大し、収益力を強化すべく、中期3ヵ年計画で輸出取引の立ち上げを注力分野の一つとして掲げております。

今回、譲り受ける対象事業は、生機・織物等製品の輸出取引を主体とした事業であり、安定的な商権に裏打ちされた収益に加え、将来的には当社が行う事業とのシナジー効果も期待できると判断し、事業の譲受を行うことといたしました。

(3) 企業結合日

平成29年10月1日(予定)

(4) 企業結合の法的形式

事業の譲受

2. 取得する事業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

現時点では確定しておりません。

3. 主要な取得関連費用の内容及び金額

現時点では確定しておりません。

4. 発生するのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

5. 企業結合日において受け入れる資産及び引き受ける負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。